

## 社内インフラ整備、新事業促進

### 「人的経営」、「デザイン思考」推進

#### 製造・取引先研修派遣を実施、営業提案力強化



柳井社長

伊藤忠丸紅鉄鋼（MISI）グループにおける薄板建材と自動車用鋼材に特化した国内販売中核会社、紅忠スチール（本社・東京都中央区、社長・柳井直樹氏）は今期から人事

改革、組織改革に取り組み、「人的経営」の強化と取引先の潜在的な需要の掘り起こしを目指し「デザイン思考」の定着を進める。前期から展開する経営方針「多様性」、「機能強化」、「トランスフォーメーション」の各種施策も継続し、基本となるカスタマーサービス機能の強化に加え、新規営業・事業案

件を開拓して収益を改善させる。人的経営では昨年から若手社員だけでなく中堅層以上の社員も対象とした製造・取引先研修派遣を実施。MISIグループのコイルセンター各社や需要家の取引先へ社員を派遣して、薄板の加工・製造に関する知見やスキルアップ、ユーザーマインドやニーズを把握

し、ユーザー対応力を強化している。また、人的資本経営の一環として、社員のビジネススクール派遣含めた社内研修制度を拡充していく。

案力の強化につなげる。人的経営およびデザイン思考定着の基盤になるのが、組織改革および人事改革などの社内インフラの整備だ。同社ではこのほど「管理部」から「人事総務部」を独立させた。社員のキャリアアップと会社の成長を相乗的に実現する人事改革の整備も合わせて進めており、従来のメンバーシップ型からジョブ型の雇用形態への移行を目指している。

柳井社長は「昨年から種をまいてきた施策が芽を出し始めており、新たに発足させた『インキュベーション・開発部』ではトレー

今期の重点施策に挙げるのがデザイン思考の定着だ。商品やサービスを受けるユーザー視点からビジネス上の課題を見つけて解決策を考える手法で、製造を考える手法で、製造・取引先やビジネススクールへの派遣を通じて経験やスキルを有機的に成長させ、デザイン思考を兼ねる営業提

ドだけではなく、取引先との協業や事業投資、海外向け案件など新しい事業が立ち上がりつつある。変化する市場環境・構造に対応するため『環境』、

『農業』、『車両』、『地方創生』といった分野も照準にしており、野も照準にしており、新需要を捕捉するビジネス戦略を立案して事業の拡大と収益増につなげたい」と話す。

